

スクールソーシャルワーク論

[講義] 第2学年～第3学年 前期 選択 2単位

《担当者名》 福間 麻紀 (看護福祉学部 m-fukuma@hoku-iryu-u.ac.jp) 富家直明 (心理科学部)

【概要】

今日の深刻化する教育現場が抱える課題や子どもたちを取り巻く問題状況の解決に、スクールソーシャルワーカーを導入する意義を学ぶ。また子どもの最善の利益と教育保障に貢献するスクールソーシャルワーカーの実践理論と支援方法を学ぶ。

【学修目標】

1. 教育現場にソーシャルワークが導入された背景、意義を理解し、教育と福祉の連携の必要性を考察することができる。
2. 子どもや家庭を取り巻く問題状況やニーズ、支援課題についてミクロ・メゾ・マクロの視点からとらえることができる。
3. スクールソーシャルワークの目的や価値に基づいた、具体的な支援方法を考えて述べることができる。
4. 多職種連携について、多職種の理解を深め、実践的な協働の方法を説明することができる。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

福間麻紀 (社会福祉士・スクールソーシャルワーカー)、富家直明 (公認心理士・スクールカウンセラー)

【実務経験を活かした教育内容】

福間：スクールソーシャルワーカーとしての実務経験を活かした教育を行う。

富家：公認心理士としての臨床実務経験（スクールカウンセラー）を反映させた教育を行う。